

入院診療計画書

大腸切除の手術を受けられる

()

様へ

2 部 印 刷
1 部 : 患 者 ファイル
1 部 : 患 者 様 用

病名 _____ 年齢 _____ 生年月日: _____ 薬剤師 _____
主治医 _____ 受持看護師 _____ 病棟 _____ 管理栄養士 _____

手術日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 AM・PM _____ 時 _____ 分

病日	手術前日	手術当日		術後1日目	2・3日目	4日目	5日目	6・7日目	8~10日目	11~13日目	14日目(退院日)	
日付	____/____/____ ()	____/____/____ (術前)	____/____/____ (術後)	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	____/____/____ ()	
目標	安心して手術を受けることができる	痛い時や調子の悪いときなどに訴えることができる		しっかりと体を動かすことができる						退院に向けての準備ができる		
食事	朝・昼は流動食となります。夕食以降は絶食です。 ※症状により朝から絶食の場合があります (水分は麻酔科医から説明があります)	飲んだり食べたりできません		飲水できます		食事が3分粥から始まります ※食事療法が必要な方は、病態に合わせた食事が出ます						
安静度	自由です 	ベッド上安静ですが、寝返りはできません		介助があれば、立ち上がり、歩いたりすることができます		自由です 						
清潔	術前処置が終了後、入浴をすることができます	入浴をすることができません 義歯・指輪・ヘアピンははずして下さい		おなかの管が入っている間は、毎日看護師が体を拭きにまいります				管が抜ければ、濡れないテープを貼ってシャワー浴をすることができます 		入浴をすることができます 		
排泄	昼食後より下剤を内服します 	6時頃浣腸をします 麻酔で眠った後尿の管を挿入します		尿の管を抜きます (必要な方はポータブルトイレ・尿器を使用してください)				制限はありません 				
検査	入院日までに手術に必要なX線検査や血液検査があります 65歳以上の方は、血ガスの検査をします			血液検査と胸部・腹部のX線撮影をします 				7日目に血液検査があります 必要時、血液検査やX線撮影をします 				
治療	胃薬を内服していただく場合があります 点滴を始めます 持参薬は特に指示がなければ続けて飲んでください ※抗凝固剤(パナルジン・バファリン・バイアスピリン・ワーファリン・プラビックス・プレタールなど)を内服している方は中止してください 痛みが強い時、発熱時、吐き気があるときは薬を使いますので、ご遠慮なくご相談ください	朝、手術着に着替えます 胃に管を入れます 注射または薬を内服していただくことがあります		持続点滴をします → 病態や食事摂取状況をみて点滴を終了します 抗生剤の点滴をします → 術後3日目に抗生剤の点滴を終了します  先生のご指示があれば胃の管をぬきます 背中に痛み止めの薬を入れる管が入ります → 先生のご指示で背中の管を抜きます 酸素吸入をします → 酸素の状態が落ち着いていれば酸素吸入は終了します 医師・看護師が創部の状態の観察に伺います  傷にはカラヤヘッシップという透明な創面保護材を貼ります → 術後7日目に創面保護剤をはずし、抜糸をします  腹部に管が入ります → 排液量が少なくなれば抜きます 飲水・食事が開始となれば飲み薬を医師の指示により再開します(抗凝固剤の内服は医師の指示が出れば再開します)								
処置	おへそのそうじをします 希望により眠れるお薬を内服します 	毛剃りをします 医師からの指示がある方は弾性ストッキングをはきます		尿の管を抜いた後、排尿状態の確認をさせていただきます								
説明指導	麻酔科医が麻酔について説明します お薬などのアレルギー歴がある場合はお知らせください 主治医・看護師が手術について説明します 同意書は手術当日までに詰所にお渡しください  必要物品 腹帯 1枚 バスタオル 1枚 アテントタイプオムツ 1枚	手術中、家族の方は病室またはデイルームでお待ち下さい		痛みがある時は、遠慮なく看護師に申し出てください 必要時、痛み止めを使います 術後、主治医から手術説明があります				医師が病理組織の結果について説明します 		薬剤師がお薬について説明します 看護師が退院後の注意事項について説明します 		

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにたがって変わることもありますのでご了承ください ※ 特別な栄養管理の必要性 有 無
◆総合的な機能評価◆ 評価対象外 ※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

- 日常生活動作 問題なし 要経過観察
- 認知機能 問題なし 要経過観察
- 意欲 問題なし 要経過観察

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

患者 又は 親権者・親族等サイン

(続柄)